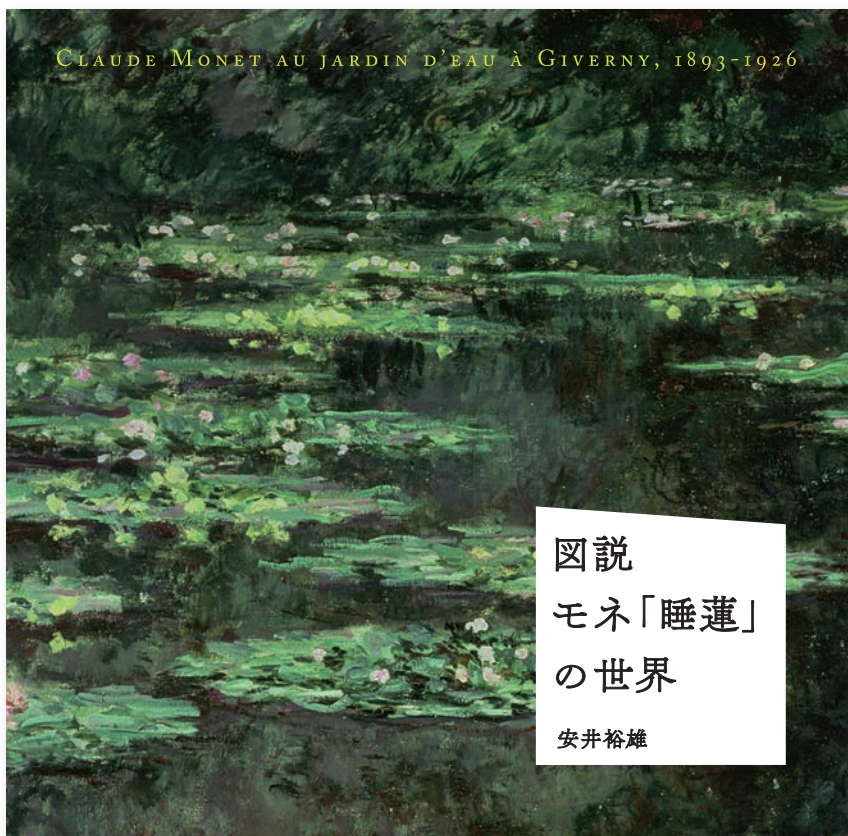


図説 モネ「睡蓮」の世界

CLAUDE MONET AU JARDIN D'EAU À GIVERNY, 1893-1926

安井裕雄 著 三菱一号館美術館 上席学芸員

最初期の作品から集大成となる
オランジュリー美術館の大装飾画まで、
モネの「睡蓮」全308作品を収録！



図説
モネ「睡蓮」
の世界
安井裕雄

モネはひとつの
眼にすぎない。
しかし何という
眼だろう！
——セザンヌ

印象派の巨匠モネは、なぜ「睡蓮」に生涯の後半を捧げたのか。自然に開かれたモネの眼がとらえたものとは？ 最初期の作品から晩年のオランジュリー美術館の大装飾画まで、生々流転する「睡蓮」の真実を、モネ研究の碩学が解き明かす。

すべての「睡蓮」を集めた
永久保存版資料。
全308作品、完全収録！

創元社

美しいだけでは終わらない
モネの壮絶なるライフワーク、
「睡蓮」の真実を紐解く

2020年
4月
刊行予定

創元社

きらめく水面にたゆたう可憐な睡蓮の花——

ジヴェルニーに造成した庭を舞台とする

モネの「睡蓮」は、今も世界中の人々を魅了してやまない。

50代後半から約30年をかけて描かれた「睡蓮」は、膨大な数にのぼる。

ひたすら光を追い、千変万化する水を見つめ続けたモネは、

いったい何を表現しようとしたのか。



B5判変型 (235×182mm) / 上製糸かがり、192頁、オールカラー / 予価 (本体3,400円+税)

本書の特長

モネの代表作「睡蓮」の歩み、制作の背景、作品の見どころを徹底解説。
 全308作品の総目録を収録した永久保存的資料。
 美術館や展覧会での「睡蓮」鑑賞がより楽しくなります。



※ページ見本、目次は制作中のため変更される場合があります。ご了承ください。

目次

- CHAPITRE I 壮大なライフワークの始動
- CHAPITRE II 日本の太鼓橋
- CHAPITRE III 水面への没入
- CHAPITRE IV 沈黙、そして制作再開
- CHAPITRE V 「大装飾画」プロジェクトの始動
- CHAPITRE VI 試行錯誤の日々
- CHAPITRE VII 壁画
- CHAPITRE VIII 「大装飾画」の完結

〈コラム〉 ジャポニスムと「睡蓮」／絵葉書で見るジヴェルニーの暮らし／セヌ川の洪水とモネの庭／モネが描いた「睡蓮」の数、廃棄した数／白内障を乗り越えて ほか

安井裕雄 (やすいひろお)

1969年生まれ。財団法人ひろしま美術館学芸員、岩手県立美術館専門学芸員を経て、現在、三菱一号館美術館上席学芸員。専門はフランス近代美術。主な担当展覧会に「モネー睡蓮の世界」(共同監修、2001)、「シャルダンー静寂の巨匠」(2012)、「ルドンー秘密の花園」(2018)、「全員巨匠! フィリップス・コレクション展」(2018)など多数。「ルドンー秘密の花園」では第13回西洋美術振興財団賞「学術賞」を受賞した。主な著書に『もっと知りたいモネ 生涯と作品』『モネ作品集』(東京美術)、『ルノワールの犬と猫 印象派の動物たち』(講談社)、共著に『モネ入門ー「睡蓮」を読み解く六つの話』(地中美術館)、『地中美術館』(公益財団法人福武財団)がある。

創元社 <https://www.sogensha.co.jp/>

本社 〒541-0047 大阪市中央区淡路町4-3-6
 TEL 06-6231-9010(代) FAX 06-6233-3111
 東京支店 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-2 田辺ビル
 TEL 03-6811-0662(代)

キリトリ

創元社申込書 この注文書にて最寄りの書店へお申し込みください。書店ご不便の場合は直送もいたします(送料無料)		冊 申し込みます	
<h1>図説 モネ「睡蓮」の世界</h1>		取り扱い店名	
		ISBN978-4-422-71019-8 C0071 予価(本体3,400円+税)	
ご住所	〒 -		
お名前	フリガナ	TEL	() -